



た ま い す み お

玉井 済夫 氏

生年月日 昭和 13 年 11 月 12 日生

住 所 田辺市高雄一丁目

昭和 13 年 (1938 年) 11 月 12 日、和歌山県新宮市に生まれる。

昭和 39 年 (1964 年) 3 月に東京教育大学理学部大学院修士課程修了後、高等学校の教諭を歴任し、平成 10 年 (1998 年) 3 月に和歌山県立熊野高等学校長を最後に退職する。この間、34 年の長きにわたり学校教育の充実・向上に力を尽くした。

また、教職の傍ら長年にわたり生物の調査・研究に取り組むとともに、紀伊半島における希少生物の保護にも尽力する。平成 25 年 (2013 年) 現在、日本爬虫両棲類学会の会員であり、県内の爬虫類・両生類の調査・研究・保護を進めてきた。

昭和 51 年 (1976 年) 4 月からは田辺市文化財審議会委員として、生物学を中心に自然科学分野の文化財の調査・研究に携わり、特に国指定天然記念物の「神島」における生物調査に力を傾けるなど、田辺市の文化財行政にも大きく貢献している。

また、自然保護活動にも力を尽くし、天神崎の自然保全運動に際しては、「天神崎の自然を大切に作る会」が設立された昭和 49 年 (1974 年) 当時から参加し、生物に関する理論の中心的存在として活動し、昭和 57 年 (1982 年) に北海道斜里町で開催された「知床国立公園内 100 平方メートル運動 5 周年記念シンポジウムー日本におけるナショナル・トラスト運動を考えるー」に出席して事例報告 (天神崎保全運動の現状・課題・今後の抱負など) を行った。これを契機にナショナル・トラストの全国組織が結成され、翌昭和 58 年 (1983 年) に田辺市で開催した「ナショナル・トラストを進める全国の会・第 1 回全国大会」の諸準備・運営の中心的な役割を担当した。この大会はまた、「天神崎保全運動 30 周年記念・第 22 回ナショナル・トラスト全国大会」として平成 16 年 (2004 年) にも田辺市で開催され、その時は「子ども環境部会」を設けて子どもたちも参加する意義深い大会とした。

昭和 61 年 (1986 年)、同会が財団法人となってからは理事として、平成 14 年 (2002 年) からは専務理事として会の運営や事業等を進め、平成 22 年 (2010 年) に公益財団法人 (新法人制度) への移行とともに業務執行理事として、土地の取得や環境整備をはじめ、近年特に多くなった学校や諸団体の天神崎での自然 (環境) 学習への対応を行い、自然案内や自然解説などを続けている。また、平成 23 年 (2011 年) 度からは、公益社団法人 日本ナショナル・トラスト協会の専務理事として重責を果たしている。

故外山八郎氏 [第 26 回 (平成 7 年) 田辺市文化賞受賞]、故後藤伸氏 [第 29 回 (平成 10 年) 田辺市文化賞受賞] らとともに、天神崎の保全と自然保護活動を支え、さらに

第 44 回 (平成 25 年)

継続させて実績をあげた功績は大きく、日本におけるナショナル・トラスト運動の先駆けとなって全国に新しい形での自然保護運動を根付かせた。多種多様な生物が生息する天神崎の海岸林と磯の自然環境が、まさに「海の熊野」と呼ぶに相応しい自然環境として今日まで保たれてきたのは、氏をはじめとする幾多の紀南の人びとの筆舌し難い努力の賜である。

平成 7 年 (1995 年) 度からは、ひき岩群国民休養地運営委員会委員として国民休養地内の保護・管理及び運営に努めるとともに、平成 11 年 (1999 年) 度からは「ふるさと自然公園センター」の自然観察教室の講師を務めている。

平成 18 年 (2006 年) 度には「和歌山大学紀南サテライト (大学院)」における「地域環境研究」の担当講師として、さらに和歌山県が派遣事業としている「環境学習アドバイザー」のほか、自然環境や自然保護にかかる講演会やセミナーの講師などに幅広く活躍している。

このほか、南紀生物同好会 (昭和 56 年度 (1981 年度) 和歌山県文化奨励賞受賞)、和歌山県自然環境研究会 (平成 14 年 (2002 年) 度和歌山県わかやま環境大賞特別賞受賞)、熊野の森ネットワーク いちいがしの会 (平成 18 年 (2006 年) 度緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰受賞)、紀伊半島ウミガメ情報交換会 (平成 20 年 (2008 年) 度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰受賞) など、多くの自然 (生物) 関係の団体においても精力的に活動している。

(学 歴)

昭和 26 年 (1951 年) 3 月	田辺市立田辺第一小学校卒業
昭和 29 年 (1954 年) 3 月	田辺市立東陽中学校卒業
昭和 32 年 (1957 年) 3 月	和歌山県立田辺高等学校卒業
昭和 37 年 (1962 年) 3 月	東京教育大学理学部生物学科 (動物学専攻) 卒業
昭和 39 年 (1964 年) 3 月	東京教育大学理学部大学院修士課程 (動物学専攻) 修了 (理学修士)

(職 歴)

昭和 39 年 (1964 年) 4 月	大阪府立阪南高等学校教諭
昭和 44 年 (1969 年) 4 月	和歌山県教育委員会保健体育課主事
昭和 47 年 (1972 年) 4 月	和歌山県立田辺高等学校教諭
昭和 59 年 (1984 年) 4 月	和歌山県立熊野高等学校教諭
平成 2 年 (1990 年) 4 月	和歌山県立熊野高等学校教頭
平成 5 年 (1993 年) 4 月	和歌山県立熊野高等学校校長
平成 10 年 (1998 年) 3 月	和歌山県立熊野高等学校退職

(その他の職歴等)

昭和 61 年 (1986 年) 4 月	財団法人 天神崎の自然を大切にすゝる会理事
平成 14 年 (2002 年) 4 月	財団法人 天神崎の自然を大切にすゝる会専務理事
平成 22 年 (2010 年) 3 月	公益財団法人 天神崎の自然を大切にすゝる会理事 (業務執行理事)
平成 11 年 (1999 年) 4 月	国立和歌山工業高等専門学校 非常勤講師
平成 12 年 (2000 年) 4 月	AWS 動物学院 (白浜町・アドベンチャーワールド内) 非常勤講師

第44回（平成25年）

平成14年（2002年）4月 公立病院組合 紀南看護学校非常勤講師
平成15年（2003年）4月 田辺市環境課（ふるさと自然公園センター）嘱託員
（自然観察指導員）

（その他役職、活動等）

- ・南紀生物同好会会長
- ・和歌山県自然環境研究会会長
- ・和歌山県自然保護調査会会長
- ・熊野の森ネットワーク いちいがしの会顧問
- ・NPO法人 わかやま環境ネットワーク 副代表理事
- ・公益社団法人 日本ナショナル・トラスト協会専務理事
- ・公益財団法人 日本生態系協会評議員
- ・日本爬虫両棲類学会会員
- ・紀伊半島ウミガメ情報交換会会員
- ・南方熊楠顕彰会理事
- ・田辺市文化財審議会委員
- ・田辺市景観保全審議会委員
- ・ひき岩群国民休養地運営委員会委員
- ・和歌山県環境学習アドバイザー
- ・和歌山県環境審議会自然環境部会委員（ほか県関係の各種委員会の委員）
- ・希少野生動植物種保存推進員（環境大臣）

（受賞歴）

昭和62年（1987年） 和歌山県教育研究奨励賞（和歌山県教育委員会）
（本県の両生類・爬虫類に関する調査研究による）
平成2年（1990年） 水環境賞（環境省水質保全局長）
（水質の保全活動への貢献による）
平成7年（1995年） 理科教育への尽力により表彰（日本理化学協会）
平成11年（1999年） 田辺市社会教育功労者表彰
平成17年（2005年） 田辺市市政功労者表彰
平成19年（2007年） 自然公園関係功労者環境大臣表彰
（永年にわたる田辺南部海岸県立自然公園の保護と適正な利用による）

（天神崎の自然を大切にすの会の受賞歴等）

昭和58年（1983年） 第1回森林文化賞（朝日新聞社・財団法人 森林文化協会）
昭和59年（1984年） 山本有三郷土文化賞（公益信託 山本有三記念基金）
昭和62年（1987年） 緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰
平成6年（1994年） WBS環境大賞（和歌山放送）
平成16年（2004年） 和歌山県知事表彰（長年の自然保全活動による）
平成17年（2005年） ふるさとづくり賞（財団法人 あしたの日本を創る協会）
平成20年（2008年） 北九州市環境賞（北九州市）

第 44 回 (平成 25 年)

※平成 23 年 (2011 年) 「天神崎の自然維持と環境教育の推進」が第 3 回プロジェクト
未来遺産に登録 (公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟)

(著書・報告書)

- ・くまの文庫『大塔山系の自然』(共著、熊野中辺路刊行会、昭和 48 年)
同『森林と動植物』、『みちばたの虫と草』(上)・(下)、『溪流と動植物』
- ・『平井川のオオサンショウウオ生息状況および生息環境についての調査』
(和歌山県自然環境保全地域候補地調査報告書 平井川、共著、和歌山県、昭和 51 年)
- ・『コモド島の自然とコモドオオトカゲを訪ねて』
(和歌山県高等学校理科研究会会誌第 15 号、和歌山県高等学校理科研究会、昭和 54 年)
- ・『第 2 回自然環境保全基礎調査・動物分布調査報告書 (両生類・は虫類) - 和歌山県 -』
(環境庁委託調査、日本自然保護協会、昭和 54 年)
- ・『天神崎自然観察地域設置調査報告書』(共著、日本自然保護協会、昭和 54 年)
- ・『昭和 54・55 年度 特別天然記念物ニホンカモシカに関する緊急調査報告書』
(共著、和歌山県教育委員会、昭和 56 年)
- ・『友ヶ島の両生類とは虫類』(友ヶ島学術調査、和歌山市、昭和 58 年)
- ・『和歌山県の両生類』(熊高紀要 10 号、和歌山県立熊野高等学校、昭和 60 年)
- ・『天神崎の自然』(共著、牽牛書舎、昭和 61 年)
- ・『自然・子供・教育』(熊高紀要 17 号、和歌山県立熊野高等学校、平成 5 年)
- ・『ウミガメは減っているか ～その保護と未来～』(共著、紀伊半島ウミガメ情報交換
会・日本ウミガメ協議会共編、平成 6 年)
- ・『田辺市の自然観察ガイドブック』(共著、田辺市、平成 11 年)
- ・『和歌山県の両生類・爬虫類 ～現状と課題～』
(和歌山県高等学校理科研究会会誌第 35 号、和歌山県高等学校理科研究会、平成 11 年)
- ・『保全上重要なわかやまの自然 - 和歌山県レッドデータブック -』
(共著、和歌山県、平成 13 年)
- ・『大杉谷・黒蔵谷の両生類・爬虫類』(大塔山系大杉大小屋国有林・黒蔵谷国有林自然
環境調査報告集、和歌山県自然環境研究会、平成 14 年)
- ・『生物から見た川の自然Ⅲ - 芳養川・稲成川・会津川および市内南部の小河川 -
(和歌山県田辺市)』(共著、田辺市、平成 16 年)
- ・『熊楠の森 - 神島』(共著、農山漁村文化協会、平成 23 年)
- ・『保全上重要なわかやまの自然 - 和歌山県レッドデータブック - (2012 年改訂版)』
(共著、和歌山県、平成 24 年) ほか